

2025 年度(令和 7 年度) 事業計画書及び収支予算書

自 2025 年 3 月 1 日
至 2026 年 2 月 28 日

公益社団法人 日本金属学会

〒980-8544 仙台市青葉区一番町一丁目 14 番 32 号

TEL 022-223-3685 FAX 022-223-6312

目 次

■ 2025 年度(令和 7 年度)事業計画書

I.事業の計画

1. 基本方針 1
2. 学術誌及び学術図書類の刊行(定款第 5 条第 1 号) 2
3. 学術講演会及び学術講習会の開催(定款第 5 条第 2 号) 3
4. 学術に関する調査及び研究(定款第 5 条第 3 号) 7
5. 学術に関する表彰及び奨励(定款第 5 条第 4 号) 10
6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第 5 条第 5 号) .. 12

II.庶務の計画

1. 特記事項 12
2. 2025 年度事業に関わる諸会議および諸集会..... 12

■ 2025 年度(令和 7 年度)収支予算書

I. 収支予算書 14

II. 収支予算書内訳表..... 17

■ 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類 20

公益社団法人 日本金属学会
2025年度(令和7年度)事業計画書
2025年3月1日から2026年2月28日まで

I. 事業の計画

1. 基本方針

- ①2025年度は公益社団法人としての13年目の事業年度であり、引き続きセルフガバナンスに基づいて、公益目的事業を公正かつ適切に推進する。
- ②刊行事業については、機関誌3誌の刊行を推進する。会報「まてりあ」においては、金属をはじめとする材料に関して学術的・技術的知見を幅広く得たいときに手軽に読め、かつ研究開発活動の一助となる情報誌であることを目指し、入門講座や講義ノートに加え、実学講座、技術士紹介等の記事カテゴリーの一層の充実を図る。また、誌面や記事構成の改定等を推進する。日本金属学会誌は、日本語で書かれた最新知見の発信や高度な専門性のある提案・意見交流・学理追求の場として維持向上を図るために、積極的な投稿勧誘やReviewやOverviewの和訳掲載等を推進する。Materials Transactionsは、日本の代表的な材料系英文論文誌で在り続けるよう、より一層高度化するとともに、インパクトファクターの更なる向上を目指し、特集やReview、Overview、Current Trends in Researchの充実と、査読の厳格化等によって掲載論文の質を向上させる。さらに、質の高い論文が掲載されていることの周知や被引用数の多い論文の著者への認定等の掲載論文引用の促進、掲載論文引用の積極的な要請等の施策を推進する。さらに、編集作業の迅速化に取り組む。また、共同刊行における編集の一体化を推進する。
- ③講演会・講習会事業については、現地開催を基本とし、適切かつ効果的なオンライン利用も継続する。最新の研究や技術を発信し、大学・企業・研究所を越えた多様かつ多くの研究者や技術者が集い交流する魅力ある講演大会を目指して、講演大会のプログラムや日程を検討する。また、魅力ある公募ならびに企画シンポジウムの開催や他学協会との連携企画の拡充等の施策を推進する。オンライン教育講座は、次世代を担う人材の教育と育成に貢献する重要なコンテンツとして位置づけ推進していく。併せて、基礎から最新の研究や技術までを学べるセミナーやシンポジウムの開催や教育講座を開催するとともに、高校生・高専生が材料の魅力を理解するための機会を作る。また、会員の活発な交流や材料分野での人材育成をより一層推進する。
- ④調査・研究事業については、国際舞台における我が国の材料科学を先導していくことを目指し、再編した分科の特長を活かす協力体制による活動を推進する。また、研究会、若手研究グループに加えて、分野を超えた取り組みを強化すべき研究課題に対して産・学・官が連携して課題解決に取り組むことを目的とした産学協創研究会の活動を引き続き推進するとともに、新たに材料共通の基盤技術・基礎学理の発展を目的とした研究会を創設する。さらに、若手研究者を対象とした研究助成事業の拡充を図る。金属及び関連材料に興味を持つ若い世代を育てることを目指し、学校教育の支援や青少年向けイベントの開催、若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。国際学術交流は、KIM、TMS、IIM等との交流および秋期講演大会における国際シンポジウムの開催を推進する。男女ともに学会で活躍できる環境作りのために男女共同参画事業を継続して推進する。
- ⑤表彰・奨励事業については、若手や民間企業の研究者・技術者を含め多様な層への授賞を推進する。
- ⑥学会の活動を広く周知するために、アウトリーチ等の広報活動を推進する。
- ⑦庶務については、引き続き法令等および本会の定めに則り、公正かつ適切に行う。
- ⑧会計については、引き続き最新の公益法人会計基準および公益認定等ガイドライン等に則り、公正かつ適切に行う。

2. 学術誌及び学術図書類の刊行(定款第5条第1号)

(1) 日本金属学会会報「まてりあ」

①発行

発行月日：2025年3月から2026年2月までの各月の1日

発行巻号：第64巻3号から第65巻2号までの12冊

発行部数：4900部

掲載頁数：55頁

電子ジャーナル：毎号発行

②巻頭記事（サイエンスライター記事）

- ・第64巻 8号

③特集等

- ・第64巻 7号 特集 「次世代の半導体技術を見据えた材料研究の最前線」 6編程度
- ・第64巻 9号 特集 「形状記憶合金を中心とした非鉄材料マルテンサイトの組織解析」 6編程度
- ・第64巻 11号 プロジェクト報告「超温度場材料創成学：巨大ポテンシャル勾配による原子配列制御が拓くネオ3Dプリントの研究および活動報告」 6編程度
- ・第64巻 12号 特集「顕微鏡法による材料開発のための微細構造研究最前線（12）」 40編程度
- ・第65巻 1、2号 特集企画 予定 各6編程度
- ・第65巻 1、2号 新技術・新製品 各6編程度

④特記事項

- ・会員へのインタビュー記事2件、外注記事1件を掲載する。
- ・7年ぶりに顕微鏡特集を掲載する。（第64巻12号）
- ・まてりあを魅力ある会報とするために、最近の研究、講義ノートなどの啓発記事、読み物記事の充実を継続する。
- ・年間掲載スケジュールを作成して計画的な編集を行うとともに、紙面の体裁や記事構成の更新を推進する。

(2) 日本金属学会誌

①発行

発行月日：2025年 3月から2026年 2月までの偶数月の1日

発行巻号：第89巻3号4号合冊から第90巻1号2号合冊までの6冊

発行部数：260部

掲載頁数：50頁

電子ジャーナル：毎号25日に発行

②特集

- ・第89巻4、5号 特集「2024年秋期大会講演精選論文」 3編程度
- ・第89巻6号 特集「次世代エレクトロニクスのための金属材料の最先端」 5編程度
- ・第89巻10、11号 特集「2025年春期大会講演精選論文」 3編程度

③特記事項

- ・掲載論文数の確保が見込めないため、冊子は2号を合冊して偶数月に刊行する。
- ・オーバービー、レビューの投稿勧誘を継続する。
- ・特集紹介論文のカテゴリー「最新の研究動向」の論文を掲載し、引用を促進する。
- ・欧文誌掲載論文の和訳掲載を推進する。
- ・大学院修士課程に所属する学生を対象とした論文の投稿勧誘を継続する。

(3) Materials Transactions

①発行

発行月日：2025年 3月から2026年 2月までの各月の1日

発行巻号：Vol. 66 No. 3号からVol. 67 No. 2までの12冊

発行部数：140部

掲載頁数：150頁

電子ジャーナル：毎号25日に発行

②特集

- ・Vol. 66 No. 4、5 特集「Selected Papers from JIMM Fall Meeting 2024」 2編程度
- ・Vol. 66 No. 6 特集「Development and Functionality of Titanium and Its Alloys as Structural, Biocompatible, and Energy Materials」 9編程度
- ・Vol. 66 No. 7 特集「SNNM 2024 - Integrated Computer Simulation for Materials and Process Engineering」 9編程度
- ・Vol. 66 No. 10、11 特集「Selected Papers from JIMM Spring Meeting 2025」 3編程度

③特記事項

- ・インパクトファクター向上を目指した施策を推進する。
- ・特集企画提案を積極的に勧誘し、実施する。
- ・Review、Overviewの投稿勧誘を継続する。
- ・特集を紹介する「Current Trends in Research」カテゴリーの論文掲載や高被引用論文の公開や被引用数の多い論文の著者にTop Cited Paper Certificateを発行することを継続し、引用を促進する。
- ・査読の質を向上させることを目的に、Best Reviewer Certificateを発行する。
- ・著者選択フリーダウンロードサービス（投稿・掲載費用に追加することにより、公開後即フリーアクセスとするサービス）及び引用の見込まれる論文のフリーダウンロードを継続する。
- ・すべての論文のGraphical Abstractを掲載することを継続する。
- ・共同刊行学協会で統一した投稿・査読プロセスを使用するとともに、編集方針の統一化を推進する。

(4) 学術図書類

①理数探求用教材の制作

3. 学術講演会及び学術講習会の開催(定款第5条第2号)

(1) 講演大会

①講演大会委員会：4回（2025年 3月、5月、9月、11月）

- a. 春秋講演大会の業務執行の協議を行なう。

②講演大会企画委員会：2回（2025年 7月、2026年 1月）

- a. 講演大会に関する企画および運営の協議を行う。
- b. 春秋講演大会のプログラム編成を行う。
- c. 講演大会活性化施策を推進する。

③春期(第176回)大会

- ・口頭発表：2025年 3月 8日～10日、東京都立大学南大沢キャンパス（東京都八王子市）
- ・ポスターセッション：2025年3月8日、東京都立大学南大沢キャンパス（東京都八王子市）
- ・高校生・高専生ポスターセッション：2025年 3月13日（オンライン）
- a. 大会参加者数：1,200人(予定)
- b. 講演発表件数：650件(予定)
- c. 講演種別：一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション、高校生・高専生ポスターセッション、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞記念講演
- d. 付設行事：付設展示会、ランチョンセミナー、学生キャリアサポート企業展示、金属組織写真展示
- e. 講演概要集：ダウンロード、2025年 2月22日公開予定

④秋期(第177回)大会

- ・口頭発表：2025年 9月17日～19日、北海道大学札幌キャンパス(札幌市)
- ・ポスターセッション：2025年 9月17日、北海道大学札幌キャンパス(札幌市)
- ・高校生・高専生ポスターセッション：2025年 9月、オンライン
- a. 大会参加者数：1,700人(予定)
- b. 講演発表件数：1,000件(予定)
- c. 講演種別：一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション(高校生・高専生ポスター含む)、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞記念講演、国際シンポジウム
- d. 第23回World Materials Day Award展示
- e. 付設行事：付設展示会、ランチョンセミナー、学生キャリアサポート企業展示
- f. 講演概要集：ダウンロード、2025年9月3日発行予定

(2) セミナーおよびシンポジウム

- ①セミナー・シンポジウム委員会：4回(2025年 3月、7月、9月、2026年 1月)
 - ・オンライン教育講座、セミナーおよびシンポジウムを企画・推進する。
- ②シンポジウム
 - ・開催予定なし
- ③セミナー
 - ・開催予定なし
- ④講習会(1件)
 - 「電気化学インピーダンス測定・解析の基礎と応用；電池反応から腐食まで」
- ⑤オンライン教育講座(6件)
 - 1) 金属材料組織学の基礎
 - ・開催時期：2025年 5月
 - 2) 金属材料の耐環境性(3) 水素脆性
 - ・開催時期：2025年 6月
 - 3) 凝固の科学
 - ・開催時期：2025年11月
 - 4) めっき：成膜法としての基礎と材料化学的アプローチ
 - ・開催時期：2025年10月または11月
 - 5) 医療用無機材料の表面反応
 - ・開催時期：2025年12月
 - 6) 耐熱材料
 - ・開催時期：2026年 1月
- *開催場所は、いずれもオンライン
- ⑥オンライン教育講座オンデマンド配信(7件)
 - ・2022年、2023年、2024年に開催したオンライン教育をオンデマンド配信する。

(3) 国内学協会共催講演会

- ・国内他学協会からの依頼により講演会を共催する。

(4) 国際会議および国際シンポジウム

- ①第20回金属・合金の強度に関する国際会議(IC SMA20th)
 - ・本会主催で2025年 6月 2日～6日で開催する。
- ②第24回KIM-JIMMシンポジウム
 - ・2025年 9月の第177回秋期講演大会の中で、本会主催で開催する。
- ③第4回国際シンポジウム
 - ・2025年 9月の第177回秋期講演大会の中で、本会主催で開催する。

(5) 支部講演会および講習会（他学協会等との共催を含む）

①北海道支部

・支部講演大会

日本鉄鋼協会・日本金属学会 両北海道支部合同サマーセッション・特別講演会
2025年 7月 開催場所 室蘭工業大学 発表件数50件 参加予定80名

日本金属学会・日本鉄鋼協会 両北海道支部合同冬季講演大会・特別講演会
2026年 1月 開催場所 北海道大学 発表件数50件 参加予定100名

・本多光太郎記念講演会 2026年 1月 開催場所 北海道大学 講演 1 件 参加予定100名

・北海道支部学術講演会

第 1 回 2025年 5月 開催場所 北海道大学 講演1件 参加予定40名

第 2 回 2025年 8月 開催場所 室蘭工業大学 講演1件 参加予定40名

第 3 回 2025年12月 開催場所 北海道大学 講演1件 参加予定40名

②東北支部

・支部講演大会

地区(特別)講演会 東北地区 2025年10-12月 山形大学 講演3件 参加予定50名

・本多記念講演会 2025年 7月 東北大学 講演 1 件 参加予定70名

・特別講演会／地区特別講演会

5回程度の開催を予定

・講習会／セミナー

学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2025年 7月 東北大学 参加予定10,000名

夏休み子ども科学キャンパス 2025年 8月 東北大学 参加予定200名

秋休み子ども科学キャンパス 2025年10月 東北大学 参加予定200名

③関東支部

・本多記念講演会 2025年12月 開催場所 未定 講演 1 件 参加予15名

・特別講演会／地区特別講演会：講演・見学会として開催

・講習会／セミナー

第 1 回 2025年10月～12月（全6回）

開催場所：未定(オンライン) テーマ名：未定 参加予定50名

第 2 回 “これをマスターすれば中級者になれる！” シリーズの講習会

2024年12月 開催場所：未定 講義及び実習 参加予定10名

④東海支部

・支部講演大会

材料フォーラムTOKAI 2025年10月の予定 開催場所：未定 発表件数：約70件
参加予定：約130名

・本多記念講演会 2025年11月 開催場所：未定 講演2～4件

参加予定：約100名（湯川記念講演会との共同開催）

・特別講演会／地区特別講演会

特別講演会（第1回）2025年 3月の予定 開催場所：未定 講演1件 参加予定：約30名

特別講演会（第2回）2025年10月の予定（材料フォーラムTOKAIと共同開催）

開催場所：未定 講演1件 参加予定：約130名

湯川記念講演会（第1回）2025年11月の予定 開催場所：未定 講演2～4件

参加予定：約100名（本多記念講演会との共同開催）

・技術交流フォーラム 2026年 1月の予定 開催場所：未定 講演2～4件 参加予定：約80名
（学術討論会との共同開催）

・談話会

第 1 回 開催月：未定 開催場所：未定 講演名：金属材料談話会 参加予定：約40名

第 2 回 開催月：未定 開催場所：未定 講演名：材料プロセッシング談話会

参加予定：約40名

- ・学術討論会（東海支部）2026年 1月の予定 開催場所：未定 発表件数：講演2～4件
参加予定：約80名（技術交流フォーラムとの共同開催）

⑤北陸信越支部

- ・支部講演大会 連合講演大会 2025年11月 開催場所 新潟県 長岡技術科学大学
発表件数120件 参加予定200名
- ・本多記念講演会 2025年11月 開催場所 新潟県 長岡技術科学大学 講演 1 件
参加予定200名
- ・特別講演会／地区特別講演会
第1回 2025年 6月 開催場所 ANAクラウンプラザホテル富山 講演2件 参加予定70名
第2回 2025年 6月 開催場所 金沢大学 講演1件 参加予定50名
- ・講習会／セミナー
第1回 2025年 6月 開催場所 長野県工業技術総合センター
テーマ未定 参加予定70名
第2回 2025年12月 開催場所 信州大学 テーマ未定 参加予定70名

⑥関西支部

- ・本多記念講演会 （日本金属学会主催、日本鉄鋼協会共催）
2025年 9月 開催場所 （一財）大阪科学技術センター
講演 1 件 参加予定30～40名
- ・特別講演会／地区特別講演会（日本鉄鋼協会主催、日本金属学会共催）
第1回（湯川記念講演会） 2025年 4月 開催場所 （一財）大阪科学技術センター
講演 1 件 参加予定30～40名
第2回（湯川記念講演会） 2026年 1～2月 開催場所 神戸製鋼所(株)
講演 1 件 参加予定30～40名
- ・講習会／セミナー
（日本金属学会主催、日本鉄鋼協会共催）
第1回材料セミナー 2025年10～12月 開催場所 大阪公立大学
テーマ名「電子顕微鏡による組織観察・分析の基礎と応用」 参加予定15名
第2回材料セミナー 2025年10～12月 開催場所 大阪大学
テーマ名「金属材料の腐食損傷の基礎とその評価」 参加予定30名
（日本鉄鋼協会主催、日本金属学会共催）
第3回材料セミナー 2025年10～12月 開催場所 （一財）大阪科学技術センター
テーマ名「技術者のための鉄鋼材料入門」 参加予定40名

⑦中国四国支部

- ・支部講演大会
春／夏期大会 2025年 8月 広島大学 発表件数50件 参加予定100名
- ・本多記念講演会 2025年 3月 岡山市 講演 1 件 参加予定40名
2025年 8月 広島大学 講演 1 件 参加予定80名

⑧九州支部

- ・支部講演大会
春季講演会 2025年 4月 オンライン 発表件数4件 参加予定 60名
秋季講演会 2025年10月 長崎大学 発表件数5件 参加予定 40名
合同学術講演会 2025年 5月 北九州国際会議場 発表件数100件 参加予定200名
- ・本多記念講演会 2025年10月 長崎大学 講演1件 参加予定40名
- ・談話会
材料科学談話会 2025年 3月～2026年 2月 3回 九州支部地区各所 参加予定：約30名
材料プロセス談話会 2025年 3月～2026年 2月 3回 九州支部地区各所 参加予定：約30名

4. 学術に関する調査及び研究(定款第5条第3号)

(1) 研究会(10テーマ)

継続テーマ6件

研究会番号	研究会名
83	高温材料の変形と破壊研究会
84	ソフト磁性研究会
85	状態図・計算熱力学研究会
86	結晶性材料の結晶配向評価および結晶方位解析技術研究会
87	水素が関わる材料科学の課題共有研究会
88	高温構造用材料の水蒸気酸化に関する基礎科学研究会

新規テーマ4件

89	コンプレキシティ・トレランス研究会
90	転位と力学特性に関するマルチスケール解析研究会
91	格子欠陥基礎機能研究会
82	アモルファス合金・金属ガラスに関する研究会

(2) 産学協創研究会(継続3テーマ、新規1テーマ)

①継続テーマ

番号	研究会名
2	カーボンニュートラル研究会
3	新材料・新機能創製研究会
4	マテリアルズインテグレーション(MI)研究会

②新規テーマ

5	量子ビーム解析技術研究会
---	--------------

(3) 若手研究グループ(1グループ)

①新規グループ

番号	グループ名
10	構造材料とデータ科学の融合研究グループ

(4) 研究助成(金属学会フロンティア研究助成)

- ・案件の募集を行い、採択案件(15件予定)を決定し、助成金を交付する。

(5) 調査研究委員会

①調査研究委員会:2回(2025年 3月、2025年 9月)

- ・調査・研究に関する業務執行の協議を行う。
- ・研究会、若手研究グループ、フロンティア研究助成の募集、審査、採択の業務を行う、

②調査研究推進委員会:2回(2025年 7月、2026年 1月)

- ・調査・研究に関する事業の活性化を推進する。
- ・研究会の審査、採択の業務を行う、

③第1～9分科の活動

- ・各分科での活動を推進する。

(6) 他の委員会活動

①企画委員会

- ・学会の魅力向上及び会員増加に向けた運営課題の検討と施策を企画・推進する。

②セルフガバナンス委員会

- ・コンプライアンス遵守を推進する。

- ③長期展望委員会
 - ・事務局に係る検討を行なう。
- ④戦略推進委員会
 - ・関連学協会との連携を推進する。
- ⑤科研費委員会
 - ・科学研究費補助金に関する情報収集を継続する。
- ⑥人材育成委員会
 - ・学校教育の支援や青少年向けイベントの開催を推進する。
 - ・若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。
- ⑦男女共同参画委員会
 - ・男女共同参画委員会（日本鉄鋼協会と合同）：2025年 3月、2025年 9月
 - ・男女共同参画ランチョンミーティング：2025年 3月
 - ・女性会員の集い：2025年 9月
- ⑧国際学术交流委員会
 - ・TMS、KIM、IOMMS、ASM International、IIM等の海外学協会・団体との交流事業を推進する。
 - ・秋期講演大会において国際シンポジウムを開催する。

(7) 支部研究会等活動

- ①東北支部
 - ・支部研究発表大会 2025年10-12月 東北大（予定）参加予定100名
- ②関東支部
 - ・ヤングメタラジスト研究交流会 2025年11月 開催場所： 横浜市IHI技術開発本部で調整
参加予定40名
- ③東海支部
 - ・研究会／地区研究会
 - 若手材料研究会 2025年11月の予定 開催場所：未定 参加予定：約80名
 - 若手冶金エンジニア研究会 2025年11月の予定 開催場所：未定 参加予定：約80名
 - ・ものづくり教育 テーマ：「現代社会を支える鉄鋼材料」 ―鉄の製造と鉄鋼製品―
2025年 3月25日 開催場所：名古屋工業大学、日本製鉄（株）名古屋製鉄所
参加予定20名
- ④北陸信越支部
 - ・材料研究会
 - 第1回 2025年10月 開催場所 富山大学 参加予定50名
 - 第2回 2026年 2月 開催場所 富山大学 参加予定50名
 - ・材料フォーラム
 - 第1回 2025年10月 開催場所 めがね会館 参加予定50名
 - 第2回 2026年 2月 開催場所 めがね会館 参加予定50名
- ⑤関西支部
 - ・研究会／地区研究会
 - （日本金属学会主催、日本鉄鋼協会共催）
 - 材料物性工学談話会 第1～2回 2025年 5月～2026年 2月
開催場所（未定） 参加予定25～80名
 - マテリアルデザイン研究会 第1～2回 2025年 5月～2026年 2月
開催場所（未定） 参加予定25～80名
 - （日本鉄鋼協会主催、日本金属学会共催）
 - 鉄鋼プロセス研究会 第1～2回 2025年 5月～2026年 2月
開催場所（未定） 参加予定25～80名
 - 関西分析研究会 第1～2回 2025年 5月～2026年 2月
開催場所（未定） 参加予定25～80名

材料化学研究会 第1～2回 2024年 5月～2026年 2月
開催場所（未定） 参加予定25～80名

⑥中国四国支部

- ・研究会／地区研究会
金属物性研究会 2025年10月～2026年 2月 中国四国支部各所 参加予定各30名
材料制御研究会 2025年 8月～2026年 2月 中国四国支部各所 参加予定各30名
- ・フォーラム
若手フォーラム 2025年10月～2026年 2月 岡山，徳島地区 参加予定40名～

⑦九州支部

- ・研究会／地区研究会
第3回金属系学協会九州支部長会議 2025年 6月 熊本大学 参加予定15名
第4回金属系学協会九州支部長会議 2025年12月 JR博多シティ 参加予定15名

(8) 支部見学会活動

①関東支部

- ・見学会 2025年11月 開催場所 未定 参加予定20名

②関西支部

- ・見学会（日本鉄鋼協会主催、日本金属学会共催）
第1回 2026年 1～2月 開催場所 神戸製鋼所(株) テーマ（未定） 参加予定30～40名

③中国四国支部

- ・見学会 2025年 8月 広島地区 テーマ未定 参加予定30名

④九州支部

- ・見学会 2025年 3月 九州柳河精機（株） 参加予定 40名

(9) 国内学協会連携活動

①日本学術会議

- ・理学・工学系学協会連絡協議会に参加し、情報交換を行う。
- ・材料連合協議会に参加し、材料系学協会との情報交換を行なう。

②日本工学会

- ・事務研究委員会に参加し、情報を収集する：8回

③技術者教育制度認定活動

- ・JABEE(日本技術者教育認定機構)活動に協力する。

④全国大学材料関係教室協議会

- ・オブザーバー参加する：2回

⑤男女共同参画活動

- ・男女共同参画学協会連絡会活動へ参加する。
- ・（一社）日本鉄鋼協会との合同男女共同参画委員会活動を推進する。

(10) 国際学協会連携活動

①IOMMS(International Organization of Materials、Metals & Minerals Societies)

- ・第23回World Materials Day(2025年11月 1日)に合わせて、World Materials Day Award Winnerを授賞する。

②大韓金属・材料学会(KIM: The Korean Institute of Metals and Materials)

- ・2025年春期講演大会にKIM代表を招待する。
- ・本会代表をKIM年次総会へ派遣する。
- ・第24回KIM-JIMMシンポジウムを本会共催で2025年 9月の本会秋期講演大会において開催する。

③TMS(The Minerals, Metals and Materials Society)

- ・JIM/TMS Young Leader International Scholar Program交流を推進する。

2025年 3月の本会春期講演大会にTMSからの派遣者1名を受け入れる。

2025年 3月のTMS2025年次大会にJIMM Young Leader1名を派遣する。

2026年 3月のTMS2026年次大会に派遣するJIMM Young Leader1名を決定する。

④ASM International

- ・ASMコンテンツの割引購入を継続するとともに国際シンポジウムへ招待する。

⑤IIM (Indian Institute of Metals)

- ・第4回国際シンポジウムに研究者にIIMから研究者を受け入れる。
- ・第1回IIM-JIMMシンポジウムをIIM年次大会にて開催する。

5. 学術に関する表彰及び奨励(定款第5条第4号)

(1) 名誉員および各種賞授賞者ならびにフェロー等の選考委員会

選考委員会	開催数	備 考
名誉員検討委員会	1	
各種賞検討委員会	6	
学会賞選考委員会	1	第71回授賞選考
本多記念講演選考委員会	1	第71回授賞選考
村上記念賞選考委員会	1	第22回授賞選考
技術賞選考委員会	1	第67回授賞選考
増本量賞選考委員会	1	第32回授賞選考
谷川・ハリス賞選考委員会	1	第65回授賞選考
功績賞選考委員会	1	第84回授賞選考
研究技能功労賞選考委員会	1	第57回授賞選考
村上奨励賞選考委員会	1	第22回授賞選考
奨励賞選考委員会	1	第35回授賞選考
技術開発賞選考委員会	1	第48回授賞選考
金属組織写真賞選考委員会	1	第76回授賞選考
論文賞選考委員会	1	第73回授賞選考
新進論文賞選考委員会	1	第5回授賞選考
まてりあ賞選考委員会	1	第15回授賞選考
優秀ポスター賞選考委員会	2	第44, 45回授賞選考
高校生・高専学生ポスター賞選考委員会	2	第13, 14回授賞選考
奨学賞選考委員会	1	第34回授賞選考
貢献賞選考委員会	1	第1回授賞選考
フェロー選考委員会	1	第9回フェロー選考
他機関の各種学術賞、奨励金等推薦	随時	

(2) 名誉員推戴

- ①名誉員推戴 2025年 3月 8日 東京都立大学（八王子市南大沢）

(3) 各賞贈呈

- ①第71回学会賞 2025年 3月 8日 東京都立大学（八王子市南大沢）
②第71回本多記念講演 2025年 3月 8日 東京都立大学（八王子市南大沢）
③第22回村上記念賞 2025年 9月17日 北海道大学（札幌市）
④第67回技術賞 2025年 3月 8日 東京都立大学（八王子市南大沢）
⑤第32回増本量賞 2025年 3月 8日 東京都立大学（八王子市南大沢）
⑥第65回谷川・ハリス賞 2025年 3月 8日 東京都立大学（八王子市南大沢）

- ⑦第84回功績賞 2025年 3月 8日 東京都立大学（八王子市南大沢）
学術部門、技術部門
- ⑧第57回研究技能功労賞 2025年 3月 8日 東京都立大学（八王子市南大沢）
- ⑨第22回村上奨励賞 2025年 9月17日 北海道大学（札幌市）
- ⑩第35回奨励賞 2025年 9月17日 北海道大学（札幌市）
学術部門、技術部門
- ⑪第1回貢献賞 2025年 9月17日 北海道大学（札幌市）
- ⑫第48回技術開発賞 2025年 9月17日 北海道大学（札幌市）
- ⑬第76回金属組織写真賞 2025年 3月 8日 東京都立大学（八王子市南大沢）
第1部門（光学顕微鏡部門）、第2部門（走査電子顕微鏡部門）、
第3部門（透過電子顕微鏡部門）、第4部門（顕微鏡関連部門）
- ⑭第5回新進論文賞 2025年 9月17日 北海道大学（札幌市）
会誌部門、欧文誌部門
- ⑮第15回まてりあ賞 2025年 9月17日 北海道大学（札幌市）
まてりあ論文賞、まてりあ啓発・教育賞
- ⑯第44回優秀ポスター賞 2025年 3月
(各所属機関・学科において贈賞)
- ⑰第45回優秀ポスター賞 2025年 9月
(各所属機関・学科において贈賞)
- ⑱第13回高校生・高専学生ポスター賞 2025年 3月
(各校において贈賞)
- ⑲第14回高校生・高専学生ポスター賞 2025年 9月
(各校において贈賞)
- ⑳第34回日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞 2025年 3月各大学卒業時実施
(各学科等において贈賞)
- ㉑第23回World Materials Day Award 2025年11月 6日 各所属機関において贈賞
最優秀賞、部門賞（3部門）

(4) フェロー認定

- ①フェロー認定 2025年 3月 8日 東京都立大学（八王子市南大沢）

(5) 支部表彰事業

- ①北海道支部
- ・支部表彰（学生） 2025年 7月 室蘭工業大学 受賞者3名
 - ・支部表彰（一般） 2025年 7月 室蘭工業大学 受賞者1名
 - ・支部表彰（学生） 2026年 1月 北海道大学 受賞者3名
 - ・支部表彰（一般） 2026年 1月 北海道大学 受賞者1名
- ②東北支部
- ・未来の金属博士賞（学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ）
2025年 7月 東北大学受賞者1団体
 - ・支部研究発表大会 ポスター賞 2025年10-12月 東北大学
最優秀ポスター賞 受賞者1-2名
優秀ポスター賞 受賞者数名（発表件数により変動）
ポスター奨励賞 受賞者数名（発表件数により変動）
- ③ 関東支部
- ・支部表彰 : 2025年11月 授賞場所: 横浜市IHI技術開発本部で調整
受賞者3名(ヤングメタラジストポスター賞)
- ③ 東海支部
- ・支部表彰 2025年10月 授賞場所: 材料フォーラムTOKAI 受賞者: 約10名

・支部功績賞・支部功労賞・支部奨励賞 2025年 3月 授賞場所：支部総会 受賞者：約5名

④ 北陸信越支部

・支部表彰 授賞場所：新潟県 長岡技術科学大 受賞者数名

・連合講演会学生優秀発表表彰 2025年11月 授賞場所：長野県 受賞者：5名

⑤ 中国四国支部

・講演大会優秀学生賞（中国四国支部） 2025年12月 岡山市 受賞者4名程度

・支部長賞（中国四国支部） 2025年12月 岡山市 受賞者1名程度

・若手フォーラム優秀講演賞 2025年12月 徳島市 受賞者1名程度

⑥ 九州支部

・合同学術講演会 2025年 6月 優秀学生表彰 受賞場所：交流会会場 賞者16名

・支部功績賞・支部功労賞・支部奨励賞 2025年 3月 授賞場所：支部役員会 受賞者：約3名

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第5条第5号)

庶務の項に記載

II. 庶務の計画

1. 特記事項

①セルフガバナンスに基づき、規程類の見直しを継続する。

②広報活動を推進する。

・Webを用いた情報発信等の広報活動を積極的に推進する。パンフレットやノベルティ等によるアウトリーチ活動を推進する。

2. 2025度事業に関わる諸会議および諸集会

(1) 本会単独事業

法定機関および任意の合議機関の諸会議	開催回数
社員総会（定時1回）	1
理事会	7
広報委員会	4
会報編集委員会	6
会誌編集委員会	6
欧文誌編集委員会	6
学術図書類刊行委員会	1
講演大会委員会	4
講演大会企画委員会	2
本多記念講演委員会	1
セミナー・シンポジウム委員会	4
企画委員会	6
長期展望委員会	1
セルフガバナンス委員会	1
調査研究委員会	2
調査研究推進委員会	2
戦略推進委員会	1
科研費委員会	1
人材育成委員会	1
男女共同参画委員会	2
国際学術交流委員会	1
名誉員検討委員会	1
各種賞検討委員会	6

学会賞選考委員会	1
村上記念賞等各賞の選考委員会	15
フェロー選考委員会	1
支部会議	28

諸 集 会	開催回数
名誉員推戴式	1
各賞贈呈式	2
フェロー認定式	1
講演大会	2
セミナー・講習会	1
オンライン教育講座	6
研究会集会	10
研究グループ集会	3
支部講演会・講習会等	40
支部研究会等	14
支部見学会	3
支部表彰式	18

(2) 他学協会等連携事業

諸 会 議	開催回数
Materials Transactions共同編集委員会	4
男女共同参画合同委員会	2
奨学賞贈呈式	35
World Materials Day Award Winner授賞式	1
KIM-JIMMシンポジウム	1
IIM-JIMMシンポジウム	1

諸 集 会	開催回数
支部講演会・講習会等	10
支部研究会等	5
支部見学会	1

公益社団法人 日本金属学会
2025年度収支予算書

2025年3月1日から2026年2月28日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	23,620,000	23,675,234	-55,234	
特定資産受取利息	23,620,000	23,675,234	-55,234	
退職給付引当資産	690,000	693,369	-3,369	
減価償却引当資産	0	87	-87	
刊行事業資金	6,390,000	6,391,000	-1,000	
刊行事業拡充賛助寄付資金	0	1,286	-1,286	
講演会・講習会事業資金	5,990,000	5,991,625	-1,625	
調査・研究事業資金	4,650,000	4,690,464	-40,464	
調査・研究事業拡充資金	0	6,000	-6,000	
国際学術交流資金	1,428,000	1,428,000	0	
国際会議準備資金	0	550	-550	
表彰・奨励事業資金	1,050,000	1,050,000	0	
学会賞資金	231,000	231,003	-3	
研究技術功労賞資金	98,000	98,000	0	
奨励賞・奨学賞等資金	693,000	693,450	-450	
谷川・ハリス賞資金	210,000	210,000	0	
増本量賞資金	490,000	490,000	0	
村上賞資金	1,700,000	1,700,400	-400	
受取入会金	100,000	100,000	0	
受取入会金	100,000	100,000	0	
受取会費	67,150,000	61,860,000	5,290,000	
正員受取会費	35,100,000	30,500,000	4,600,000	会費値上
学生員受取会費	3,800,000	3,200,000	600,000	会員数増を見込み
維持員受取会費	27,900,000	27,000,000	900,000	口数増
外国会員受取会費	350,000	1,160,000	-810,000	国内在住外国人を正員としたことによる会員数減
事業収益	82,750,000	85,873,050	-3,123,050	
刊行事業収益	39,239,000	45,392,050	-6,153,050	
会報購読費収益	1,375,000	1,863,110	-488,110	
会誌購読費収益	2,867,000	3,350,400	-483,400	
欧文誌購読費収益	7,726,000	10,483,204	-2,757,204	会員電子ジャーナル無料化による購読料減
会報別刷等収益	2,016,000	3,231,250	-1,215,250	別刷り減
会誌別刷・審査収益	300,000	390,000	-90,000	
欧文誌別刷・審査収益	19,320,000	20,040,000	-720,000	カラー印刷収入費減
刊行事業広告収益	4,119,000	4,518,000	-399,000	
単行本収益	516,000	516,086	-86	
著作権料収益	1,000,000	1,000,000	0	
講演会・講習会事業収益	42,060,000	40,145,000	1,915,000	
講演大会参加費収益	26,880,000	26,000,000	880,000	参加者増を見込み
講演大会懇親会参加費収益	2,390,000	1,490,000	900,000	参加者増を見込み
金属学会シンポジウム参加費収益	600,000	600,000	0	
金属学会シンポジウム予稿集収益	10,000	10,000	0	
セミナー参加費収益	5,590,000	5,590,000	0	
セミナーテキスト収益	30,000	30,000	0	
講演会・講習会事業広告収益	4,385,000	4,265,000	120,000	
支部講演会・講習会事業収益	1,615,000	1,600,000	15,000	
講演会・講習会事業委託収益	560,000	560,000	0	
調査・研究事業収益	275,000	0	275,000	
調査・研究事業収益	0	0	0	
支部調査・研究事業事業収益	275,000	0	275,000	
表彰・奨励事業収益	1,176,000	336,000	840,000	
審査・投稿料収益	1,176,000	336,000	840,000	技術開発賞投稿数増を見込み
受取補助金等	0	0	0	
受取国庫助成金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取寄付金	25,000,000	25,000,000	0	
受取寄付金	25,000,000	25,000,000	0	刊行事業拡充賛助寄付資金から振替
雑収益	20,000	21,100	-1,100	
受取利息	0	1,000	-1,000	
雑収益	20,000	20,000	0	
支部受取利息・雑収益	0	100	-100	
経常収益計	198,640,000	196,529,384	2,110,616	

科 目	当年度	前年度予算額	増 減	備 考
(2) 経常費用				
事業費	181,634,000	180,602,373	1,031,627	
刊行事業費	79,973,000	78,901,349	1,071,651	
給料手当	30,750,000	26,313,040	4,436,960	派遣職員増
退職給付費用	1,660,000	1,771,491	-111,491	
福利厚生費	2,890,000	4,372,897	-1,482,897	育児休暇職員
会報刊行費	31,124,000	33,465,765	-2,341,765	巻頭記事、デザイン費等見直し
会誌刊行費	1,953,000	1,963,242	-10,242	
欧文誌刊行費	10,222,000	9,640,914	581,086	管理費増
学術図書類刊行費	1,374,000	1,374,000	0	
講演会・講習会事業費	55,593,000	55,806,052	-213,052	
給料手当	18,450,000	15,787,824	2,662,176	派遣職員増
退職給付費用	996,000	1,062,895	-66,895	
福利厚生費	1,734,000	2,623,738	-889,738	育児休暇職員
講演大会開催費	26,083,000	28,107,620	-2,024,620	会場費減
講演大会懇親会費	980,000	1,000,000	-20,000	
本多記念講演開催費	132,000	92,500	39,500	
金属学会シンポジウム開催費	575,000	672,385	-97,385	
セミナー開催費	1,803,000	1,155,090	647,910	オンラインセミナー経費増
国際会議開催費	0	0	0	
支部講演会・講習会開催費	4,840,000	5,304,000	-464,000	
調査・研究事業費	36,915,000	37,208,351	-293,351	
給料手当	3,075,000	2,631,304	443,696	
退職給付費用	166,000	177,149	-11,149	
福利厚生費	289,000	437,290	-148,290	
関連団体連携事業費	20,000	21,500	-1,500	
日本工学会費	171,000	172,540	-1,540	
材料戦略委員会費	10,000	10,000	0	
科研費委員会費	1,000	1,000	0	
人材育成委員会費	140,000	140,000	0	
男女共同参画委員会費	215,000	170,000	45,000	
調査研究委員会費	2,147,000	2,020,568	126,432	
研究会費	3,500,000	4,500,000	-1,000,000	研究会数減
研究助成費	22,500,000	22,500,000	0	
企画委員会費	2,000	2,000	0	
セルフガバナンス委員会費	10,000	10,000	0	
国際学術交流委員会費	2,800,000	2,561,000	239,000	
支部調査・研究事業費	1,869,000	1,854,000	15,000	
表彰・奨励事業費	9,153,000	8,686,621	466,379	
給料手当	3,075,000	2,631,304	443,696	
退職給付費用	166,000	177,149	-11,149	
福利厚生費	289,000	437,290	-148,290	
名誉員費	378,000	147,600	230,400	
各種賞検討委員会費	847,000	720,568	126,432	
学会賞費	799,500	799,060	440	
技術賞費	65,000	100,600	-35,600	
技術開発賞費	217,000	214,600	2,400	
金属組織写真賞費	115,500	110,700	4,800	
研究技術功労賞費	594,000	636,700	-42,700	
功績賞費	147,500	342,100	-194,600	
奨励賞・奨学賞等費	215,500	428,200	-212,700	
谷川・ハリス賞費	46,000	57,300	-11,300	
増本量賞費	213,000	212,300	700	
まてりあ賞	30,000	28,800	1,200	
村上賞費	1,218,000	1,195,500	22,500	
論文賞費	397,000	221,500	175,500	
フェロー費	21,000	12,350	8,650	
支部表彰・奨励事業費	230,000	213,000	17,000	
管理費	20,966,000	20,146,622	819,378	
給料手当	6,150,000	5,262,608	887,392	派遣職員増
退職給付費用	332,000	354,298	-22,298	
福利厚生費	578,000	874,579	-296,579	
会議費	870,000	870,000	0	
旅費交通費	2,500,000	2,500,000	0	
通信運搬費	1,300,000	1,300,000	0	

減価償却費	250,000	267,237	-17,237	
消耗什器備品費	100,000	45,000	55,000	
消耗品費	2,350,000	2,350,000	0	
修繕費	10,000	10,000	0	
印刷製本費	500,000	500,000	0	
光熱水料費	68,000	40,000	28,000	
賃借料	528,000	528,000	0	
保険料	14,000	12,000	2,000	
諸謝金	20,000	20,000	0	
租税公課	2,732,000	2,732,000	0	
送金手数料	270,000	133,000	137,000	
支払負担金	10,000	12,000	-2,000	
システム管理費	334,000	285,900	48,100	
委託費	1,600,000	1,600,000	0	
雑費	450,000	450,000	0	
経常費用計	202,600,000	200,748,995	1,851,005	
評価損益等調整前経常増減額	-3,960,000	-4,219,611	259,611	
評価損益等	0	0	0	
当期経常増減額	-3,960,000	-4,219,611	259,611	

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-3,960,000	-4,219,611	259,611	
一般正味財産期首残高	1,076,960,440	1,092,961,439	-16,000,999	
一般正味財産期末残高	1,073,000,440	1,088,741,828	-15,741,388	
Ⅱ. 指定正味財産増減の部				
特定資産受取利息	1,700,000	1,700,400	-400	
未経過償還差額金の償却額	301,399	10,194	291,205	
刊行事業拡充賛助寄付金	50,000	50,000	0	
一般正味財産への振替額	27,051,399	26,760,594	290,805	25,000,000円を受取寄付金へ振替
当期指定正味財産増減額	-25,000,000	-25,000,000	0	
指定正味財産期首残高	415,875,099	422,194,880	-6,319,781	
指定正味財産期末残高	390,875,099	397,194,880	-6,319,781	
Ⅲ. 正味財産期末残高	1,463,875,539	1,485,936,708	-22,061,169	

(注) 1. 小科目の対前年度予算額比50万円超の増減の理由および補足説明を備考欄に記載した。

2. 人件費の配賦率は、刊行事業50%、講演会・講習会事業30%、調査・研究事業5%、表彰・奨励事業5%、法人会計10%としている。

2 0 2 5 年 度 収 支 予 算 書 内 訳 表
2025年3月1日から2026年2月28日まで

(単位：円)

科 目	公 益			目 的			業 会 計			法 人 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
	刊 行 事 業	講 演 会 ・ 講 習 会 事 業	調 査 ・ 研 究 事 業	表 彰 ・ 奨 励 事 業	共 通 小	計	計	計	計			
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
特定資産運用益	6,390,000	5,990,000	6,078,000	4,472,000	621,000	23,551,000	69,000	0	23,620,000			
特定資産受取利息	6,390,000	5,990,000	6,078,000	4,472,000	621,000	23,551,000	69,000	0	23,620,000			
受取入金金	0	0	0	100,000	0	100,000	0	0	100,000			
受取人金	0	0	0	100,000	0	100,000	0	0	100,000			
受取会費	0	0	0	0	47,005,000	47,005,000	20,145,000	0	67,150,000			
正員受取会費	0	0	0	0	24,570,000	24,570,000	10,530,000	0	35,100,000			
学生員受取会費	0	0	0	0	2,660,000	2,660,000	1,140,000	0	3,800,000			
維持員受取会費	0	0	0	0	19,530,000	19,530,000	8,370,000	0	27,900,000			
外国会員受取会費	0	0	0	0	245,000	245,000	105,000	0	350,000			
事業収益	39,239,000	42,060,000	275,000	1,176,000	0	82,750,000	0	0	82,750,000			
刊行事業収益	39,239,000	0	0	0	0	39,239,000	0	0	39,239,000			
講演会・講習会事業収益	0	42,060,000	0	0	0	42,060,000	0	0	42,060,000			
調査・研究事業収益	0	0	275,000	0	0	275,000	0	0	275,000			
表彰・奨励事業収益	0	0	0	1,176,000	0	1,176,000	0	0	1,176,000			
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
受取国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
受取地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
受取寄付金	25,000,000	0	0	0	0	25,000,000	0	0	25,000,000			
受取寄付金	25,000,000	0	0	0	0	25,000,000	0	0	25,000,000			
雑収益	0	0	0	0	20,000	20,000	0	0	20,000			
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
雑収益	0	0	0	0	20,000	20,000	0	0	20,000			
支部受取利息・雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
経常収益計	70,629,000	48,050,000	6,353,000	5,748,000	47,646,000	178,426,000	20,214,000	0	198,640,000			
(2) 経常費用												
事業費	79,973,000	55,593,000	36,915,000	9,153,000	0	181,634,000	0	0	181,634,000			
給料手当	30,750,000	18,450,000	3,075,000	3,075,000	0	55,350,000	0	0	55,350,000			
臨時雇賃金	0	2,080,000	135,000	50,000	0	2,265,000	0	0	2,265,000			
退職給付費用	1,660,000	996,000	166,000	166,000	0	2,988,000	0	0	2,988,000			
福利厚生費	2,890,000	1,734,000	289,000	289,000	0	5,202,000	0	0	5,202,000			
会議費	74,000	9,267,000	2,771,000	82,000	0	12,194,000	0	0	12,194,000			
旅費交通費	0	2,659,000	5,215,000	853,000	0	8,727,000	0	0	8,727,000			
通信運搬費	7,586,000	1,772,000	219,000	24,000	0	9,601,000	0	0	9,601,000			

減価償却費	1,250,000	750,000	125,000	125,000	0	2,250,000	0	0	2,250,000
消耗什器備品費	500,000	300,000	50,000	50,000	0	900,000	0	0	900,000
消耗品費	444,000	670,000	570,000	20,000	0	1,704,000	0	0	1,704,000
修繕費	50,000	30,000	5,000	5,000	0	90,000	0	0	90,000
印刷製本費	26,984,000	4,040,000	161,000	319,000	0	31,504,000	0	0	31,504,000
光熱水料費	340,000	204,000	34,000	34,000	0	612,000	0	0	612,000
賃借料	2,640,000	1,584,000	264,000	264,000	0	4,752,000	0	0	4,752,000
保険料	70,000	42,000	7,000	7,000	0	126,000	0	0	126,000
諸謝金	1,679,000	2,100,000	520,000	0	0	4,299,000	0	0	4,299,000
送金手数料	1,350,000	821,000	136,000	140,000	0	2,447,000	0	0	2,447,000
賞状・賞牌・副賞費	0	135,000	0	3,450,000	0	3,585,000	0	0	3,585,000
支払助成金	0	0	22,500,000	0	0	22,500,000	0	0	22,500,000
支払負担金	0	100,000	416,000	20,000	0	536,000	0	0	536,000
システム管理費	1,670,000	7,669,000	167,000	167,000	0	9,673,000	0	0	9,673,000
雑費	36,000	190,000	90,000	13,000	0	329,000	0	0	329,000
管理費	0	0	0	0	0	20,966,000	0	0	20,966,000
給料手当	0	0	0	0	0	6,150,000	0	0	6,150,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	332,000	0	0	332,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	578,000	0	0	578,000
会議費	0	0	0	0	0	870,000	0	0	870,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	2,500,000	0	0	2,500,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	1,300,000	0	0	1,300,000
減価償却費	0	0	0	0	0	250,000	0	0	250,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	100,000	0	0	100,000
消耗品費	0	0	0	0	0	2,350,000	0	0	2,350,000
修繕費	0	0	0	0	0	10,000	0	0	10,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	500,000	0	0	500,000
光熱水料費	0	0	0	0	0	68,000	0	0	68,000
賃借料	0	0	0	0	0	528,000	0	0	528,000
保険料	0	0	0	0	0	14,000	0	0	14,000
諸謝金	0	0	0	0	0	20,000	0	0	20,000
租税公課	0	0	0	0	0	2,732,000	0	0	2,732,000
送金手数料	0	0	0	0	0	270,000	0	0	270,000
支払負担金	0	0	0	0	0	10,000	0	0	10,000
システム管理費	0	0	0	0	0	334,000	0	0	334,000
委託費	0	0	0	0	0	1,600,000	0	0	1,600,000
雑費	0	0	0	0	0	450,000	0	0	450,000
経常費用計	79,973,000	55,593,000	36,915,000	9,153,000	0	181,634,000	20,966,000	0	202,600,000
評価損益等調整前経常増減額	-9,344,000	-7,543,000	-30,562,000	-3,405,000	47,646,000	-3,208,000	-752,000	0	-3,960,000
評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-9,344,000	-7,543,000	-30,562,000	-3,405,000	47,646,000	-3,208,000	-752,000	0	-3,960,000

科 目	公 益 目 的 事 業					法 人 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
	刊 行 事 業	講 演 会・講 習 会 事 業	調 査・研 究 事 業	表 彰・奨 励 事 業	共 通 小 計			
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	9,344,000	7,543,000	30,854,590	3,405,000	-51,146,590	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	292,590	0	-3,500,590	-3,208,000	0	-3,960,000
一般正味財産期首残高	305,000,000	334,828,272	266,714,941	59,897,168	68,771,234	1,035,211,615	0	1,076,960,440
一般正味財産期末残高	305,000,000	334,828,272	267,007,531	59,897,168	65,270,644	1,032,003,615	0	1,073,000,440
II 指定正味財産増減の部								
特定資産受取利息	0	0	0	1,700,000	0	1,700,000	0	1,700,000
未経過償還差額金の償却額	0	0	0	301,399	0	301,399	0	301,399
刊行事業拡充費助寄付金	50,000	0	0	0	0	50,000	0	50,000
一般正味財産への振替額	25,050,000	0	0	2,001,399	0	27,051,399	0	27,051,399
当期指定正味財産増減額	-25,000,000	0	0	0	0	-25,000,000	0	-25,000,000
指定正味財産期首残高	103,750,000	0	98,947,140	213,177,959	0	415,875,099	0	415,875,099
指定正味財産期末残高	78,750,000	0	98,947,140	213,177,959	0	390,875,099	0	390,875,099
III 正味財産期末残高	383,750,000	334,828,272	365,954,671	273,075,127	65,270,644	1,422,878,714	0	1,463,875,539

(注)会費収益の7割を公益目的事業会計に、3割を法人会計に配賦した。

事業 年度	自	令和7年3月1日	法人コード	A020813
	至	令和8年2月28日	法人名	公益社団法人日本金属学会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
事業 区分	番号	借入先	金額	使途
			円	
			円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし		
事業 区分	番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途
			円	
			円	